

東海聖書神学塾

塾報

2016 年 7 月

第 6 3 号

460-0022

名古屋市中区金山2-1-3

金山クリスチャンセンター3階

☎・FAX 052-321-7516

E-mail tokai.seisyo.singakujuku@gmail.com

<http://ttsjpn.org>



「主の救霊の御思いを
自分の思いとする
伝道をめざして」

東海聖書神学塾 教師
入川 達夫

東海聖書神学塾開塾以来、「女性奉仕者コース」と「牧師夫人講座」で「伝道論」を担当させていただいております。2年間の学びでは聖書を様々な角度から取り上げた講義がそれぞれの教師によって講義がされていますが、今回は私が担当しております女性奉仕者コースでの伝道論の目指しているところについて紹介したいと思います。

特にこのコースにおける伝道論の学びは、受講生が具体的に未信者や求道者に直接福音を伝える「実習」を通して直接的な聖霊の御業を経験し、主イエス・キリストの福音宣教の恵みと祝福に与かることを主眼として講義内容を組み立てております。たとえ実習とは言え、これは人の魂のお取り扱いをさせていただく時ですし、その後も継続的にフォローしてゆくことが伴う真剣勝負ですので、受講生諸姉もこのために一心に祈り、自らを主に明け渡してことに取り組んでおられます。そしてこれは伝道の結果云々よりも、そのことを通して伝道した本人が聖霊の導きの中で用いられた喜びを経験し、伝道の働きは主の御手の働きであることを確信していただくための霊的な訓練でもあります。受講生の中には、自分の奉仕を通して主を信じる決心者が起こされる方もありますし、あるいは福音に対して心を閉ざしている未信者への伝道に果敢に取り組み、祈りと涙をもって労される方もおります。そのような困難な伝道に取り組んだ方はそのことを通して、悔い改めない人々のかたくなさに涙された主イエスの愛の御思いに近づけていただく霊的な深まりを経験しておられます。

教師としての願いは、受講された方々がこのような主イエスの救霊の御思いを自分の思いとして、学びの修了後も伝道の働きを継続的に教会でしてくださることです。そしてこのような彼女たちの継続的な伝道の働きが、祈り送り出してくださっている教会の伝道の助けになればと願いつつ講義を持たせていただいております。



春のリトリート

4月2日～3日 主講師 松浦剛牧師
レイクサイド入鹿にて



入塾式 4月1日

新入塾生の紹介



教職志願者コース
中島 正人

今から17年前の1999年4月、信徒奉仕者コースでの学びの道が備えられ、仕事をしながらの4年間の学びがスタートしました。学びが深められるにつれて、教会での働きによりコミットしたいとの思いが徐々に強まり、フルタイムでの働きを願うようになりました。しかし、当時はすぐに職場を退職できる状況ではなく、学びが終了し卒業した後は、仕事をしながら教会の奉仕を続けました。そして、神様はいつの日にかきっと道を開いてくださると思い、その機会を待ち続けました。卒業後10年以上が経過した一昨年から昨年にわたり、フルタイムの働きに向け状況が一気に整えられてきました。思いもかけないような不思議な事態の展開がありました。このことを祈りつつ日々を過ごしていくと、その途上で状況がさらに整えられていき、自分自身の思いも強められてきました。そして、神様がフルタイムの働きのために召してくださっていることを強く確信し、教職志願者コースへの編入を決心しました。



あなたの道を主に委ねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げて下さる。詩篇37:5

私は個人事業で家業を継いだ不動産賃貸業、有限会社として音楽事務所をしています。家内がゴスペルのディレクター、私はギタリストです。私は以前「織田恭博とザ・メッセンジャーズ」というグループで音楽伝道をフルタイムでしていた事もありました。しかし最近是一般の音楽の演奏ばかりになっていました。「このままで良いのだろうか?」と今の音楽活動に虚しさを強く覚えるようになりました。(共演者はみな素晴らしい方々です。)「1バンドメンバー(歯車)でなく、クリスチャンの自分しか出来ない事をしたい。自分の演奏にも満足できていない。」との強い思いが湧き上がりました。

大変な時期もあった不動産事業も守られ「本当に素晴らしい主を伝えたい。」との思いと「霊的な訓練から音楽も演奏も変えられる。」との確信により入塾を決意いたしました。



信徒奉仕者コース
兼松 努

いろんな方との交わりの中で、神さまが共にいて下さることに感謝し、教会生活をさせていたでています。そんな中で、教会に仕えたい、神学塾で学んでみたいと思うようになりました。しかし、神さまや人に対して愛のない自分自身に気がつき、とても教会に仕えたいなどとは言えないとも思っていました。そのような時、ヨハネ21:15「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛しますか?」のみことばが与えられました。そのような愛のない私を知ってでも声をかけて下さった神さまに、今のままの私で素直に従おう、委ねようと思いました。

塾での学びや交わりを楽しくさせていただいていることに感謝しています。送り出して下さった教会の皆さんに感謝しながら、謙遜になり、喜んで、塾での学びに励んでいきたいと思ひます



信徒奉仕者コース
木倉 麻美

紆余曲折の信仰生活30年目の今年、私のうちに働いて神学塾入塾の志を立てさせてくださった主に感謝しています(ピリピ2:13)。残りの人生を意識するようになった55歳、天に宝を積み思いで主に仕え、悔いの残らない生涯を強く願うようになってきました。その第一歩として同じ志を持つ諸先輩方から学び備えることを示され、名古屋勤務・転居という環境の好変化のなか、まずは働きながらの入塾へと導かれました。4月から始まった週2日の学びには、これまで経験のない定時退社で仕事を終え(毎回祈りの連続です!)、いつも滑り込みセーフ!授業では教会史、旧約概論など目から鱗の連続!学ぶことの感動とともに主の教えをしっかりと自分のものにしたい思いが強まります。

まだまだ人生半ば、今後どのような導きがあるのかワクワクしながら、私の生涯に働かれる主に期待し、祈り求め、従っていきます。



信徒奉仕者コース
白川 和志

私は今 71歳です。医者になって46年、受洗して30年、なまぬるい信仰生活を送ってきました。神学校に入りたいと思ったのは今回が初めてではなく、20年前、松原湖バイブルキャンプでの医療伝道セミナーの学びの後、岩手のシオン錦秋湖の特別集会に参加し、宮城県の大宣教学院を訪問しました。午前中に講義があり、午後から農作業や近くの村に伝道していると聞きし、ここに入りたいと思いました。申し込みをすると決めて、家族に話しました。すると子ども達から、「私たちはどうなるの」と猛反対を受けて断念することになりました。子どもは6人おりますし、手元に貯めてある貯金で5、6年は生活しなくてはならないので、当然のことかもしれません。

2年前、私の尊敬する毛戸健二牧師から、「杉浦兄弟、神学校に行ったらどうですか。」と言われました。突然のことで、何も答えることができませんでした。1年間、祈り、今回入塾させていただくことになりました。残された生涯、この年になってもまだ学ぶということが、証詞だと思って、努力したいと思ひます。どうぞよろしく願いいたします。



信徒奉仕者コース
杉浦 浩



女性奉仕者コース
三輪 則子

私は同盟福音金山キリスト教会に通って30年になります。日曜礼拝、祈祷会、教会奉仕は、生活の一部になっています。子育てが終わり、仕事からも離れた今、神学塾で学ぶチャンスが神様から与えられました。主に感謝します。ベテランの牧師先生による授業が始まりました。御言葉を学びながら、キリストを土台とした歩みを生涯続けて行きたいという思いで、授業に向き合っています。また、クラスで出会った皆さんと、一緒に学ぶことができ嬉しく思います。これから、お互いをよく知って、共に神様の良き働き手になれるよう親交を温めていきたいです。「主が家を建てるのであれば、建てる者の働きはむなし・・・」詩編127



女性奉仕者コース
野々垣 晶子

神様の深いあわれみによって、私のような者に塾での学びがゆるされました。神様に、また送り出してくださった教会の皆様へ心から感謝いたします。クリスチャンになってからも繰り返し失敗し、自己中心で罪深い私を、神様は見捨ててことはありませんでした。忍耐強く養い育てていただきました。どんなに罪深くちに等しい者をも神様はご自身の御業に用いてくださることを知り、ただ感謝です。人知をはるかに超えたイエス様の愛をさらに深く知って、イエス様をお伝えしていきたいです。神様と教会に用いて頂きたいです。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠の命をもつためである。」ヨハネの福音書3章16

「聞いたこと、真似したこと」

辻 康 日本基督教団四日市教会
2008年信徒奉仕者コース卒

神学塾30周年に寄せて

勤め先で定年4年前、4月の入塾を直前にして、予期しない転勤となった。「この際、会社を退職されたらどうですか？」とG先生に真顔で言われたが、これはキツイ冗談だと解釈することにした。とりあえず休学届を出し、2年後、名古屋に戻ったとき「復学」というかたちで入塾し、3年間の学びをした。授業の合間に話された先生方の何気ない言葉が印象に残っている。

「みなさん、牧師などにならなくていいですよ。それより、よき信徒となって教会を支えなさい」とはK先生。「牧師になろうかどうか迷っているなら、牧師にならないほうがいい。この道しかないと思う人だけがなりなさい」とはM先生の言葉。「礼拝にラフな姿や、その反対に正装で出席する人がいますが、みなさんは全体の平均よりも少し上の服装を目指してください」とはG先生の「入門クラス」の授業そのもの。

現在、私は教会学校で成人科を担当している。塾で受けた授業がひとつのお手本だ。S先生のように講義中に讃美歌を歌うこともある。D先生のように「お菓子を食べてながら」話を進めたこともある。塾で経験していなければやっていないことだ。「弟子」とは師に従う者であり、真似をする者であるという。だから、ためらうことなく実践している。(神学塾の絵も)



熊本地震ボランティア

6月9日(月)～13日(金)

益城町で活動しました。

町の80%が全半壊という地区で、生活水も使用できない中、多くの人が避難している施設やテントで生活。方々のお話を伺うことができました。

実質3日間の活動を振り返り、今後に不安を抱えながら生活されている方々のことを思うと、果たして何ができただけで嬉しく励みになるんですよ、どの方も話して下さったことが思い出されます。今は、何をしたいというだけでなく、これからも覚えて祈り続け、折にふれ伝えていくことで次へとつながっていただけるのだと思います。

田村江利子 女性奉仕者コース



塾生会呼びかけの震災支援募金(CS教師会などにて)
熊本(FHI) 1万円 エクアドルアライアンス教団 1万円

CS教師研修会



今回は新しく、一宮アイプラザに場所を設定して4月29日に開催されました。会場や駐車場は大きく、全てに余裕がありました。しかしながら、参加者は例年に比べて若干少なく、残念です。

今回は新しい試みが幾つかありました。子供たちへの対応を企画しました。主題講演の最中に子供たちは「騎回し」に参加し、その面白さに熱中、黄色い歓声が止むことなく楽しむことができました。

3教会のCSの取り組みを写真で紹介しました。これも関心をもって受け入れられました。

主題講演は分かり易く、ユーモアも交えて河野先生より語られました。

(基礎科4年河森研一)

行事報告

- 2月2日（火）、恒例の『第31回女性公開講座』が名古屋一麦教会を会場にして持たれました。日本同盟基督教団・習志野台キリスト教会の丸山園子先生が、「いきいきとした信仰生活を」の題で講演していただき、約120名の参加者がありました。
- 3月11日、夕方の卒業式を前にして理事会、評議員会を開きました。
- 3月14～15日、レークサイド入鹿にて持たれた教師一泊研修会では、羽鳥頼和師と鈴木健之師の発題によって10名の教師が研修しました。
- 4月29日（金）にアイブラザー一宮を会場に持たれた『第23回CS教師研修会（一日神学校）』では、「子どものための説教」をテーマにして河野勇一ほかの教師たちの奉仕によって、130名が学びました。
- 夏季伝道実習（7月7～10日）では、同盟・豊橋ホサナ・キリスト教会（林明信牧師）と同盟福音・一宮キリスト教会（岡本真紀牧師）とバプテスト教会連合・緑キリスト教会（河野勇一牧師）が塾生たちを迎えてくださいました。（塾生主任・河野勇一）

教務報告

- 今年度は、4月1日に入塾式を行い、教職志願者コースに1名、信徒奉仕者コースに4名、牧師夫人講座に3名の、女性奉仕者コースに2名、合計10名の新入塾生が与えられました。また、昨年からは始まりました牧師のための継続教育としてアドヴァンスコースを開催し、現在15名の教職者が学びに集っております。塾生達の主にある学びと訓練のためにお祈りくださいますようお願い致します。
- 教会員やお知りあいの方等で、教会での奉仕への献身を考えておられる方がありましたら、ぜひ、当塾への入塾をご検討くださいますようお願い致します。資料をお送り致します。
- クラスの見学をなさりたい方は、ご遠慮なく（火曜日または金曜日に電話で）お申し出ください。
- 神学塾の講師の先生方を礼拝や修養会等の奉仕にお招きになりたい教会は、直接先生方とご相談ください。奉仕の際に、講師の先生方に神学塾の案内をする機会を提供していただければ、たいへん感謝です。
- 「金山クリスチャンセンター」を会議等のためにご利用されたい団体等はお申し込みください。
- 専門科塾生のための「奨学金基金」への献金をお願い致します。（教務主任・鴨下直樹）

- 7月18日（月曜・祝日・海の日）は金山クリスチャンセンターの日として神学塾では毎年午後1時から「古本のみ市」を開催しております。また、特別講座として午後2時より「祈り」をテーマに鴨下師の講座があります。塾生、OB、どなたでもご参加ください。無料です。

2017年度 塾生募集

- 東海聖書神学塾のコースは以下の5つです。
 - 教職志願者コース「牧師、宣教師等に召された人のため/週2、3日の学びで5年程」
 - 信徒奉仕者コース「信徒牧会者・信徒伝道者等のため」
 - * 週2日、昼または夜だけの学びの場合は4年程、昼夜の学びの場合は2年程で修了
 - 女性奉仕者コース「教会の女性奉仕者のため/毎週の金曜日の学びで2年」
 - 牧師夫人講座「牧師や宣教師夫人だけのため/隔週の金曜日の学びで2年」
 - アドヴァンスコース「牧師や神学塾の卒業生のため/毎月一度月曜日の学びで1年単位」
 - * 入塾願書をご希望の方は、どうぞ郵便で当塾へご請求ください。{返信用の切手 92 円同封}
- 当塾は教会から推薦された献身者のみを受け入れる方針を堅持しておりますので、入塾希望者は必ず所属教会の牧師の指導を受けると共に、教会役員会で召命と献身を確認して頂き、教会全体の支援を受けて入塾できるように準備してください。
- 2017年度の入塾説明会は 2017年1月6日（金）2時～ と5時半～
 - 同 入塾願書の締め切りは 2017年2月17日（金）必着
 - 同 入塾試験（筆記・面談）は 2017年3月3日（金）1時～（全員）